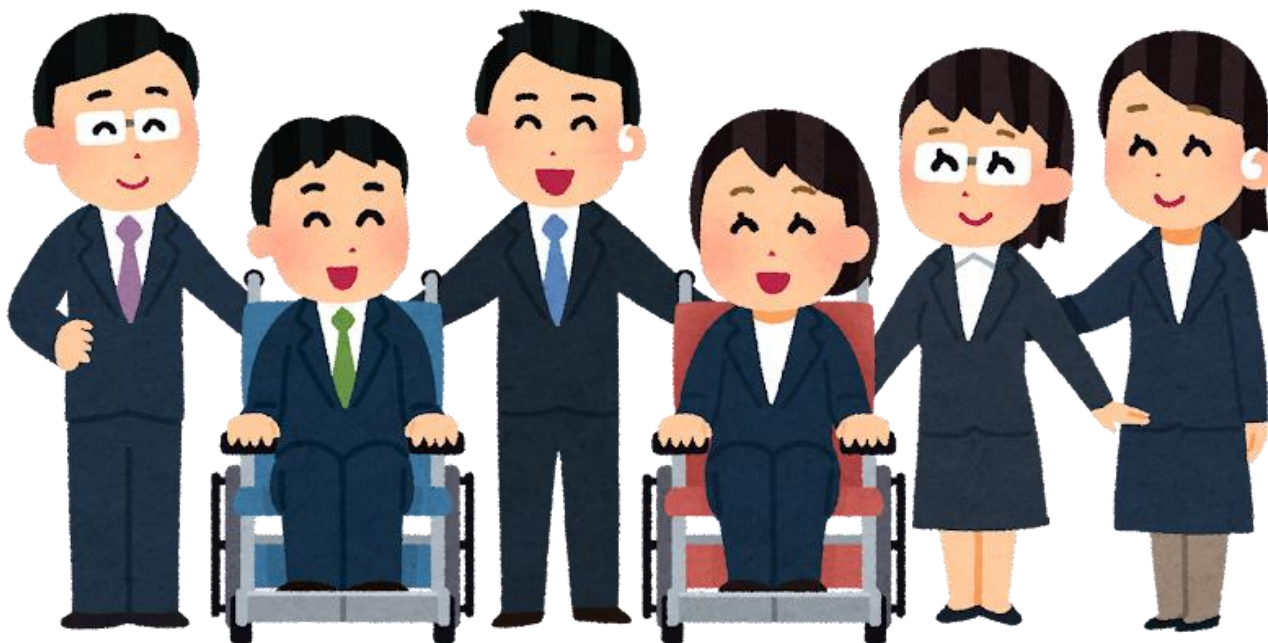




障がい者グループホーム すてっぷかながわ

虐待防止委員会運営マニュアル



株式会社プロウェーブ

音声読上げ



1. 障害者福祉施設における虐待防止の必要性

障害者福祉施設等の責務（障害者虐待防止法第 15 条）

「障害者福祉施設の設置者又は障害福祉サービス事業等を行う者は、障害者福祉施設従事者等の研修の実施、当該障害者福祉施設に入所し、その他当該障害者福祉施設を利用し、又は、当該障害福祉サービス事業等に係るサービスの提供を受ける障害者及びその家族からの苦情の処理の体制の整備その他の障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止等のための措置を講ずるものとする」

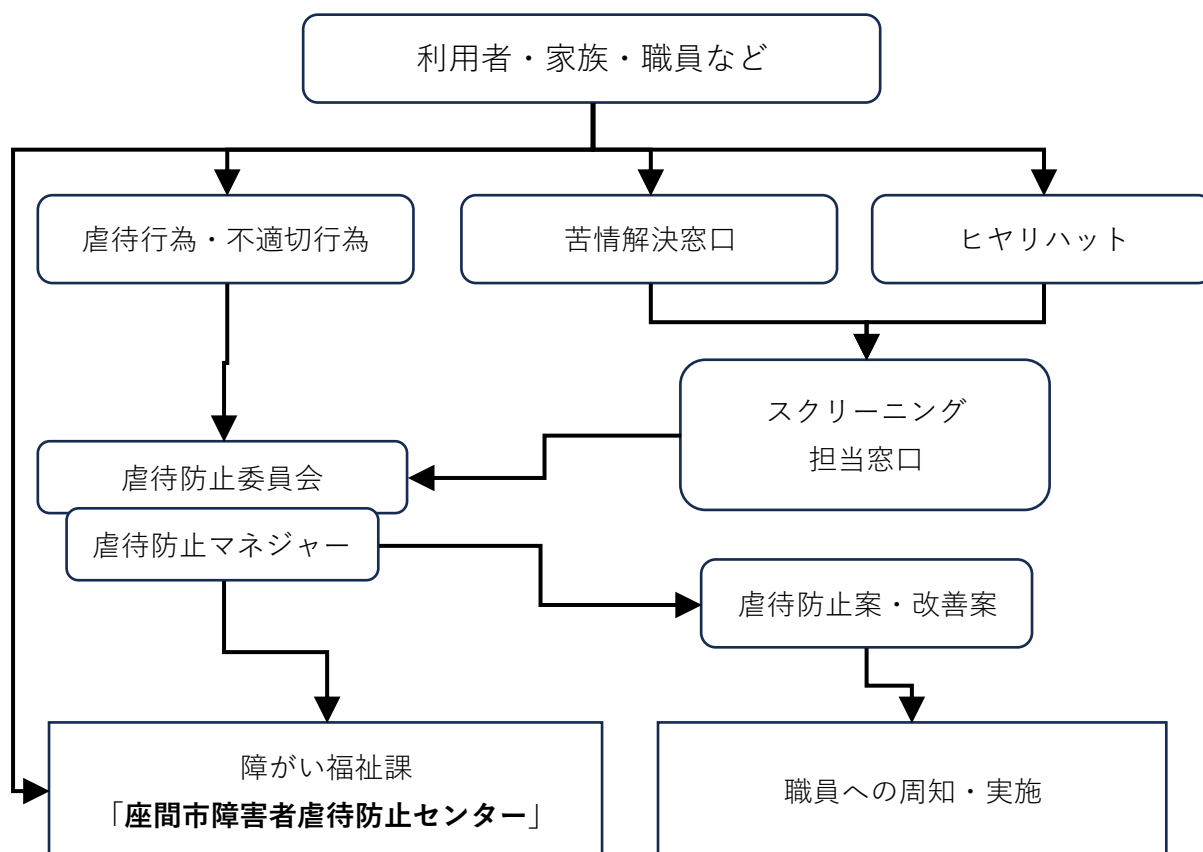
1) 管理者に求められる視点・役割

視点：「自分の施設では虐待は発生しない」ではなく「どの施設でも発生する可能性がある」

≪具体的な取り組み≫

法人としての理念、倫理綱領、行動規範、虐待防止指針の策定や周知徹底、虐待の早期発見の仕組みづくり、権利擁護システムの組織化、職員への権利擁護教育、職員のストレスを軽減できるよう環境的配慮や労務管理上の人的配置や勤務体制づくり、関係機関と地域との連携体制づくりなど

2. 虐待防止委員会の位置づけ



3. 虐待防止委員会委員

1) 虐待防止委員会

① 委員長

- ・ 代表取締役 廣瀬 真樹

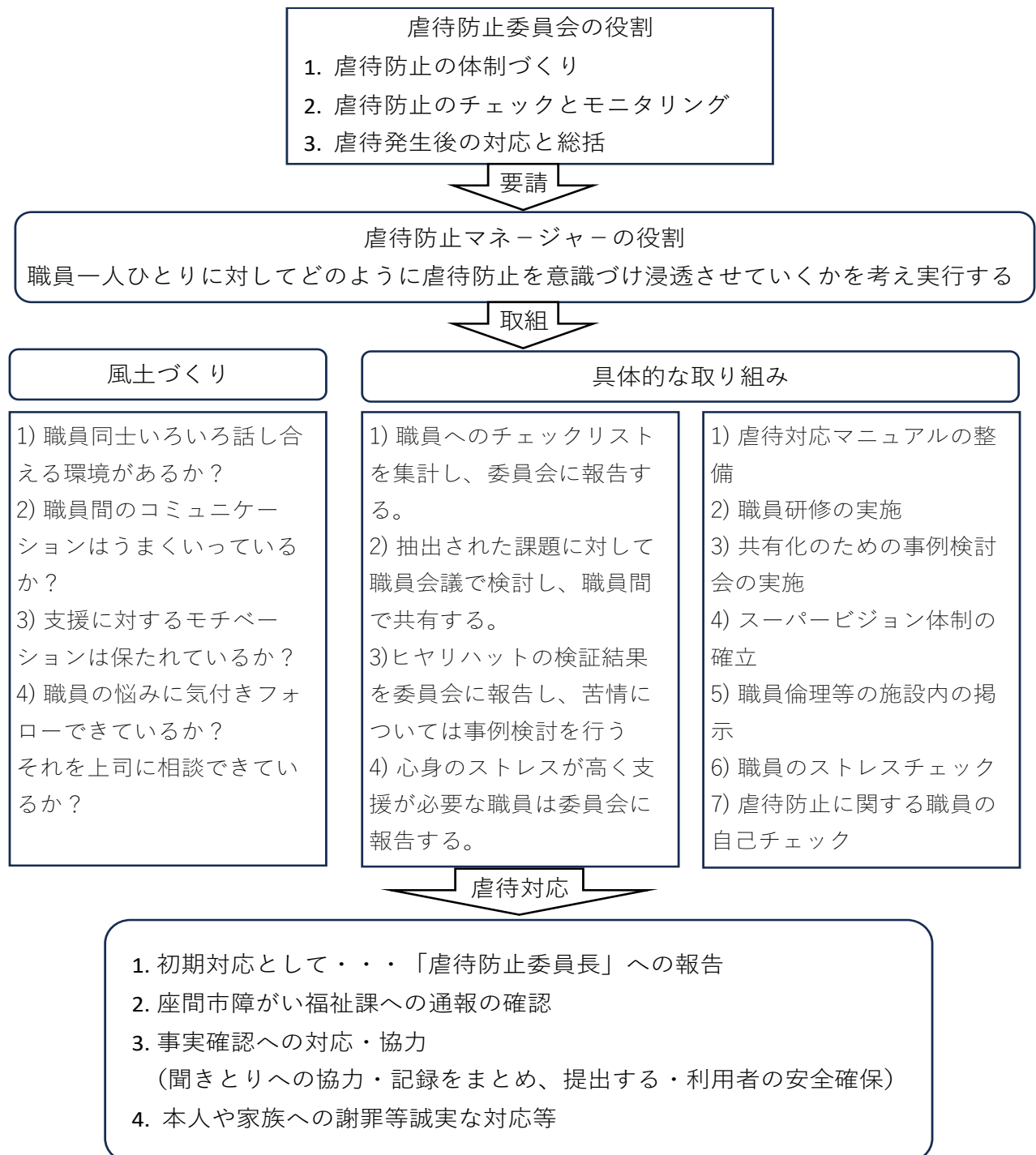
② 副委員長

- a. サービス管理責任者 安藤 弓子
- b. 管理者 広瀬 亜希子

③ 虐待防止受付担当者（虐待防止マネージャー）

- ・ 広瀬 亜希子

4. 虐待防止委員会と虐待防止マネージャーの役割



5. 障害者虐待防止研修プログラム

セッション	研修内容
1. 障害者虐待の基礎的理解	
障害者虐待とは何かについて学ぶ	1) 障害者虐待防止法の基本的内容を理解する。 2) 施設全体で虐待防止に取り組む必要性について理解を深める。 3) 関連領域の虐待防止法の理解を深める。
障害者虐待の実態を学ぶ	1) 過去事例やマスコミ報道内容を通して障害者虐待の実態を知る。
2. 虐待防止のための取り組みを学ぶ	
虐待防止取り組み体制を学ぶ	1) 他の施設等の取り組みなどを通して、体制づくりのための具体的な内容について学ぶ。 2) 虐待防止に向けて、自らの施設の現在の体制や取り組みを知る
日常場面での虐待行為を検証する	1) 虐待行為につながる行為について確認し、改善点を共有するとともに、その改善策を考える。
3. 虐待の早期発見、発生時の対応	
虐待の早期発見	1) 虐待の早期発見の必要性を理解する。 2) 虐待の早期発見のための施設内での対応を考える。 3) 虐待の早期発見のためのチェック項目などについて理解する
虐待発生時の対応	1) 虐待が発生した際の通報の必要性について学ぶ。 2) 虐待行われた場合の施設での対応について、それぞれの役職等による役割や対応の手順などの理解を図る。
4. まとめ	
施設内の改善点の検討	1) 虐待防止の取り組みについて、さらに改善できる可能性について検討・提案する。
自らの取り組みについてまとめる	1) 虐待防止において自ら取り組むべきことを確認する。
地域のネットワークを生かした取り組みに広げる	1) 地域のネットワークをいかに構築し、機能させていくか、具体的方策について検討・提案する。

* 研修方法

Session	研修目的	研修方法	日程・時間
1	虐待とはどのような行為なのかについて、法律上の定義などについて理解する 参考解説 (QR をスマホで読み取ってお聞きください) 	講義(音声講座、動画講座の場合有)	虐待防止マニュアルを事前通読
2	1) 事例や事件報道された内容などをおして、障害者虐待の実態を把握する。 2) 施設全体で利用者の虐待防止に取り組む必要性について理解する。	講義(動画講座の場合有)+演習	講義 15 分程度 グループワーク 10 分 事例を活用、全体討議 10 分
	3) 日常の支援で、虐待となる行為、虐待につながる行為について確認し、改善が必要な点について確認・共有する。 4) グループワークや全体討議を通じた原因の考察、課題の抽出、改善に向けた検討する。	演習	オリエンテーション 5 分 グループワーク 10 分 事例を活用、全体討議 10 分
3	1) 虐待の早期発見の必要性を理解する。 2) 虐待が発生した場合の通報の必要性を理解する。	演習	オリエンテーション 5 分 グループワーク 10 分 事例の活用、全体会議 10 分
4	1) 自らの虐待防止の取り組みについて、さらに改善できる可能性について 検討・提案する。	演習	オリエンテーション 5 分 グループワーク 10 分 事例の活用、全体会議 10 分
	2) 関係施設・機関や自立支援協議会、虐待防止センターの役割・機能を理解する。	講義(動画講座の場合有)+演習	講義 15 分 グループワーク 10 分 全体会議 10 分

*虐待防止に関する取り組みの推進・改善シート

①

チェックリストにより、取り組みが進んでいない事項や更に改善する必要のある事項の原因や課題

②

①の解決・改善に向けて必要な対応や工夫、現時点で対応が困難である場合にはその理由



④

解決・改善状況の評価と更に取り組みを要する課題の整理



③

解決・改善に向けて必要な対応、工夫の具体的な進め方（計画）、目標とする期間



6. 虐待防止チェックリストの活用

職員が自覚しながら職場や支援の実際を振り返るために、虐待の未然防止と早期発見・早期対応の観点から虐待防止委員会では以下のチェックリストを活用する。回答内容に問題がある場合は、別途、虐待防止チェックリスト職員用で再チェックする。

職員セルフチェックリスト

実施日: 令和 年 月 日 職員名:

チェック項目	チェック欄
利用者への対応、受答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	☐ できている ☐ できていない
利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	☐ できている ☐ できていない
利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	☐ できている ☐ できていない
職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取扱いに留意している。	☐ できている ☐ できていない
事前に利用者の同意を得ずに、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入りなどを行わないようにしている。	☐ できている ☐ できていない
利用者の意見、訴えに対し、無視することなく、耳を傾け否定的な態度をとらないようにしている。	☐ できている ☐ できていない
利用者さんから呼ばれたりした際に、長時間待たせたりしないようにしている。	☐ できている ☐ できていない
利用者の嫌がることを強要すること、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	☐ できている ☐ できていない
危険を回避のために、行動上の制限が必要と予想される際は、事前に本人、ご家族に説明し同意を得るとともに、その方法を検討し実施にあたっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。 (チームアプローチ: 利用者の課題を解決するための目標を共有し、その目標に向かってサービス管理責任者、管理者、世話人、かかりつけ医師、ケースワーカーなど様々な職種が連携し、それぞれの専門性を発揮して、1人の利用者の支援を行うこと。)	☐ できている ☐ できていない
利用者に対するサービス提供に関わる記録書類(ケース記録等)について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむを得ず行った場合等の状況も適切に記入している。	☐ できている ☐ できていない
ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	☐ はい ☐ いいえ
ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	☐ はい ☐ いいえ
他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。	☐ はい ☐ いいえ
職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	☐ はい ☐ いいえ
他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面にでくわしたことがある。	☐ はい ☐ いいえ
他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場면을容認したこと(注意できなかったこと)がある。	☐ はい ☐ いいえ
最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みをもち続けている。	☐ はい ☐ いいえ
最近、特に仕事にやる気を感じないことがある。	☐ はい ☐ いいえ
最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。	☐ はい ☐ いいえ

体制整備チェックリスト

【虐待防止のための指針の整備・次の項目が盛り込まれているか】

チェック項目	チェック欄
事業所における虐待防止に関する基本的な考え方	☐ はい ☐ いいえ
虐待防止委員会その他事業所内の組織に関する事項	☐ はい ☐ いいえ
虐待防止のための職員研修に関する基本方針	☐ はい ☐ いいえ
事業所内で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針	☐ はい ☐ いいえ
虐待発生時の対応に関する基本方針	☐ はい ☐ いいえ
利用者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	☐ はい ☐ いいえ
その他虐待防止の推進のために必要な基本方針	☐ はい ☐ いいえ

【規定、マニュアルやチェックリスト等の整備】

チェック項目	チェック欄
倫理綱領、行動規範等を定めている	☐ はい ☐ いいえ
倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができています。	☐ できている ☐ できていない
虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	☐ はい ☐ いいえ
虐待防止マニュアルやチェックリスト等について、職員に周知徹底し、活用している。	☐ できている ☐ できていない
緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に徹底している。	☐ できている ☐ できていない
身体拘束について検討する機会(ミーティング等)を設けている	☐ はい ☐ いいえ
緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。	☐ はい ☐ いいえ
個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している	☐ できている ☐ できていない
個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	☐ できている ☐ できていない

【職員への意識啓発、研修】

チェック項目	チェック欄
職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	☐ はい ☐ いいえ
日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	☐ はい ☐ いいえ
職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。	☐ はい ☐ いいえ
「職員チェックリスト」の活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握に努めている。	☐ できている ☐ できていない
「早期発見チェックリスト」の利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	☐ できている ☐ できていない

【外部からのチェック】

チェック項目	チェック欄
「福祉サービス第三者評価事業」を活用し、サービスの質の向上等に努めている。	☐ はい ☐ いいえ

「福祉サービス第三者評価事業」を一定の期間ごとに、継続的に受審している。	☐ はい ☐ いいえ
虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。（第三者評価事業の受審を除く）	☐ はい ☐ いいえ
施設・事業所の事業・監査において虐待防止に関わるチェック等を実施している。	☐ はい ☐ いいえ
ボランティアの受入を積極的に行っている。	☐ できている ☐ できていない
実習生の受入を積極的に行っている。	☐ できている ☐ できていない
家族、利用希望者の訪問・見学は随時受けている。	☐ できている ☐ できていない

【苦情、虐待事案への対応等の体制の整備】

チェック項目	チェック欄
虐待防止に関する責任者を定めている。	☐ はい ☐ いいえ
虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	☐ はい ☐ いいえ
苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内するとともに、苦情解決責任者等を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	☐ できている ☐ できていない
苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	☐ はい ☐ いいえ
職員が支援等に関する悩みを相談することのできる相談体制を整えている。	☐ はい ☐ いいえ
施設内での虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章として保存している。	☐ はい ☐ いいえ
施設内での虐待事案が発生した場合の再発防止策等を具体的に文章化している。	☐ はい ☐ いいえ

【その他】

チェック項目	チェック欄
施設において利用者の金銭及び、貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	☐ できている ☐ できていない
施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	☐ できている ☐ できていない
施設経営者・管理者は、職員の意見や要望を聴く場を設けている。	☐ できている ☐ できていない
施設経営者・管理者は、施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	☐ できている ☐ できていない
利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。	☐ できている ☐ できていない
希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者・家族に説明を行っている。	☐ できている ☐ できていない
利用者・家族、一般市民やオンブズマン等からの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	☐ できている ☐ できていない
虐待の防止や権利擁護について利用者、家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	☐ はい ☐ いいえ

【地域における虐待の防止、早期発見・対応】

チェック項目	チェック欄
障害者（児）やその家族、地域住民等に対し虐待の防止に関する普及・啓発を実施している。	☐ はい ☐ いいえ
家族、地域関係者との連携と情報交換を積極的に行い、虐待の可能性のある事案の観察や早期発見に努めている。	☐ できている ☐ できていない
地域における虐待防止において、障害福祉サービス事業者（施設）などの事業者間の連携を図っている。	☐ できている ☐ できていない
地域における虐待防止について、相談支援事業者、地域自立支援協議会や行政機関等との連携・協力（意見交換等も含む）をしている。	☐ できている ☐ できていない
地域の障害者が虐待を受けた場合の積極的な受け入れ（市町村からの依頼があった場合等）を行っている。	☐ はい ☐ いいえ
虐待事案のみならず、福祉サービスの利用等を含め、相談窓口を設置・広報し、地域住民の相談を受けている。	☐ はい ☐ いいえ
虐待を受けた障害者・児の受け入れとその支援に関するマニュアル等を一般のマニュアル等とは別に作成している。（虐待を受けた障害者・児への支援）	☐ はい ☐ いいえ
虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合の相談支援事業者や行政機関等への連絡（通報）について手順等が具体的に文章化している。	☐ はい ☐ いいえ
虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に直接訪問する等の対応を行う努力をしている	☐ できている ☐ できていない
虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に、施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制を事前に定めている	☐ はい ☐ いいえ

早期発見チェックリスト

1. 「身体的虐待」発見の着眼点

着眼点	チェック欄
身体に不自然なキズ、あざ、火傷（跡）が見られることがありますか？ *衣服の着脱時等にも留意してください。	☐ はい ☐ いいえ
上記の質問で「はい」の場合、原因や理由が明らかにならない場合が多くありますか？	☐ はい ☐ いいえ
以前に比べて家族や他の利用者、また、職員等への対応や態度が変わったように感じられることはありませんか？ *急におびえる、少しの動きにも身を守るような素振りをする 等	
特に体調不良でもないような場合に、職員とのコミュニケーションが、急に少なくなる等の変化はありませんか？	
急に周りの人に対して攻撃的になることはありませんか？	

2. 心理的虐待の着眼点

着眼点	チェック欄
自傷、かきむしりなど、自傷行為、それに近い行為が増えている利用者さんがいますか？	☐ はい ☐ いいえ
生活リズムが急に不規則になった利用者さんがいますか？ *睡眠、食の嗜好、日課等の変化	☐ はい ☐ いいえ
身体を萎縮させるようなことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
突然わめいたり、泣いたりすることが多くなったと感じられることはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
過食や拒食等、食事について変化が見られますか？	☐ はい ☐ いいえ
以前よりも意欲がなくなった、投げやりな様子になった等と覚えることがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
体調が悪いと訴える機会が増えていますか？	☐ はい ☐ いいえ

3. 性的虐待の着眼点

着眼点	チェック欄
人に対して嫌悪感を抱いているような態度や言動をとることが増えていますか？	☐ はい ☐ いいえ
人に触れられることを極度に嫌がることが増えたように感じられることはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
歩行等がいつもより不自然であることや、座位が保てないようなことはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
肛門や性器からの出血やキズがみられますか？	☐ はい ☐ いいえ
急に怯えたり、恐ろしがったりする、また、人目を避けるようなことはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
一人で過ごす時間が増えていますか？	☐ はい ☐ いいえ

4. 経済的虐待の着眼点

着眼点	チェック欄
年金等があるにも関わらずお金がないと訴えることはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
お金を引き出すことが、頻繁になっていますか？	☐ はい ☐ いいえ
サービス利用料や生活費の支払いができないようなことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
知人や友人に誘われて、夜間出歩くようになっていませんか？ (なっていると聞いていますか？)	☐ はい ☐ いいえ
今まで付き合いのなかった人が、部屋に出入りしていますか？ (するようになっていないと聞いていますか？)	☐ はい ☐ いいえ
出費をともなう外出や娯楽の機会が急に減ったように感じられませんか？	☐ はい ☐ いいえ

5. ネグレクトの着眼点

着眼点	チェック欄
食事を摂っていないように感じたり、空腹を頻繁に訴えることはありますか？	☐ はい ☐ いいえ
劣悪な衛生状態や衛生環境にあると感じられることはありますか？ ※異臭がする、髪や爪などが伸びたままで汚い、衣服が常に同じ等	☐ はい ☐ いいえ
サービス利用料や生活費の支払いができないようなことがありますか？	☐ はい ☐ いいえ
いつ見ても皮膚に湿疹や、オムツかぶれがあるように見られますか？	
整容に対して無頓着、あるいは拒否が多く見られますか？	
自分や他者、物に対して投げやりな態度が見られることはありませんか？	
約束事や支援サービスを当日になってキャンセルすることが多くありますか？	